

焼津市新病院建設基本設計業務委託に関するプロポーザル
審査報告書

令和元年 12 月 23 日

焼津市新病院建設基本設計業務委託プロポーザル審査委員会
委員長 丸田 誠

1 選定までの経過

令和元年 6 月 24 日の第 1 回審査委員会において決定した募集要項に従い、令和元年 7 月 8 日から本プロポーザルへの参加表明を受け付けたところ、6 社から参加表明がありました。この 6 社は、いずれも募集要項に定める参加資格要件及び業務実施上の条件を満たしていたため、6 社の全てを対象に参加表明書類による一次審査（企業や配置技術者の実績等に関する客観審査）を行った結果、全社に対し技術提案書の提出要請を行うこととしました。

全社からの技術提案書の提出を受け、令和元年 12 月 7 日に公開によるプレゼンテーション及びヒアリングを実施し、当審査委員会において最優秀提案者（最優先交渉権者）及び優秀提案者（次点交渉権者）の選定を行いました。

月日	実施内容
令和元年 6 月 24 日(月)	第 1 回 焼津市新病院建設基本設計業務委託プロポーザル 審査委員会（以下：プロポーザル審査委員会）
7 月 8 日(月)	公告（募集要項等関連資料の配布開始）
7 月 8 日(月)～ 7 月 11 日(木)	参加表明に関する質問受付
7 月 16 日(火)	第 2 回 プロポーザル審査委員会 公告（配置技術者の資格要件修正）
7 月 18 日(木)	参加表明に関する質問への回答
7 月 23 日(火)	参加表明書提出受付締め切り
7 月 30 日(火)	〔一次審査〕 第 3 回 プロポーザル審査委員会
8 月 1 日(木)	一次審査結果通知 技術提案要請通知
8 月 1 日(木)～ 8 月 6 日(火)	技術提案に関する質問受付
8 月 27 日(火)	技術提案に関する質問への回答
9 月 19 日(木)	技術提案書提出受付締め切り

月日	実施内容
9月30日(月)	第4回 プロポーザル審査委員会
10月14日(月・祝)	※当初二次審査を予定していたが台風19号の接近により延期
12月7日(土)	〔二次審査〕 公開プレゼンテーション・ヒアリング 第5回 プロポーザル審査委員会
12月11日(水)	二次審査結果通知
12月12日(木)	二次審査結果公表

2 審査結果

公開によるプレゼンテーション及びヒアリングを経て、当審査委員会において審査し、最優秀提案者として株式会社梓設計 中部支社（E社）を、優秀提案者として株式会社佐藤総合計画 中部事務所（B社）を選定しました。

		A社	B社	C社	D社	E社	F社
評価点数	140点満点	77.9点	90.4点	78.9点	83.6点	101.5点	89.9点
選定結果			優秀提案者			最優秀提案者	

3 講評

(1) 全体講評

第一次審査では各社とも十分な実績を有していることが確認できたことから、参加表明の全社を第二次審査対象者として選定し、技術提案書の提出を依頼しました。

第二次審査として実施した公開プレゼンテーションでは、各社とも高齢化をはじめとする医療環境の変化への対応や、病院利用者と職員動線の分離など、療養環境向上のための工夫がみられました。建設コストダウンの検討も各社とも具体的な提案がなされていました。また、防災面ではインフラの継続確保や病院敷地全体の災害対応スペースへの転用など、非常時における病院機能維持について、各社から様々な提案がなされていました。

各社とも、本事業の課題や制約について十分に理解し、それらを解決するアイデアや斬新な取組など、総じて水準の高い提案がなされました。

(2) 個別講評

〔最優秀提案者〕 E社 株式会社梓設計 中部支社

焼津市新病院基本計画をふまえ、各評価テーマについてバランスよくまとめられた提案でした。

取組体制の視点では、各技術者の立場・役割が十分に理解され、患者中心の施設整備の視点では、センター化の徹底やユニバーサルデザインをきめ細かに採用し、

併せて緑化やアートなどを駆使することにより、病院利用者のストレス軽減に努めていました。働きやすい施設整備の視点では、スタッフステーションからの視認性確保や動線の短縮化など、効率的な運用について具体的に提案されていました。ヘリポートを地上に設ける案が示されましたが、屋上への移動も可能なことを回答いただきました。

災害への対応については、地震災害をはじめとして病院に起こりうるあらゆる災害や緊急事態について、きめ細かな検討がなされていた他、変化への対応、経済性の考慮及び環境への配慮に関する提案について具体性のある根拠を示すなど、全体的に高く評価されました。

また1フロア当たりの病棟数や建設コストの抑制に関しても、これまでの実績を踏まえ、本業務における考え方が明快に示され、最優秀提案者に選定されました。

〔優秀提案者〕 **B社** 株式会社佐藤総合計画 中部事務所

患者中心の施設整備の視点では、外来のワンフロア化をはじめ、来院者のアクセス動線や外来患者の待ち時間対策について積極的な提案がなされ、病院利用者によく配慮された提案でした。また、働きやすい施設整備の視点では、看護動線の短縮と見守りに配慮しており、患者ケアがしやすい機能的な配置について、より良い工夫がみられました。

また、外来・病棟部門において、富士山への眺望を考慮するなど、本病院の特色を踏まえた提案のほか、現病院での救急動線や運用、隣接敷地の調査など、現状の把握を細かく行っており、本業務へ意欲的に取り組む姿勢についても評価されました。

A社

患者中心の施設整備の視点では、多様な来院者に配慮したサインやヒーリングアートについて提案があった他、経済性を考慮した施設整備の視点ではコスト抑制に向けた具体的な取り組みが示され評価を受けました。

リニアック棟の別棟化など免震構造に関するコスト抑制の工夫がみられたものの、災害に対する施設整備や働きやすい施設整備などで具体的な提案が少なく、また病棟の西日対策にも具体性が無く、全体的に高い評価が得られませんでした。

C社

1フロア当たり4病棟として、本病院が想定する8階から低層化を図る内容でした。低層化により床面積を削減し、医療スタッフ設備の充実を図る他、コストや工期の点についても幅広く提案がありました。平面計画では、各機能をブロックでまとめた上、将来的な変化に備え、柔軟性のある構造や拡張スペースを見込んだ敷地配置について高い評価を受けました。

一方で、業務実施方針や働きやすい施設整備の視点でスタッフステーションの

オープン化等の提案について、他の事例の少なさなどが指摘され、また免震構造の採用にあたり、本敷地で特段の対応が必要となる長周期地震動に関する具体的な内容が少なく、また敷地地盤のかさ上げも小さめで、全体的に高い評価が得られませんでした。

D社

C社と同様に、1フロア当たり4病棟として低層化を図り、低層化に伴う外壁や床面積の削減によるコストダウン、病棟間の連携強化等の提案がありました。

変化に対応できる施設整備の視点として、将来の医療環境の変化や老朽化への対応を見据えた、建物の構造、インフラ設備及び内外装等の視点での可変性の高い提案がなされました。また建設コストの抑制について、各部門の面積分析による適正化や仕様の比較によるコストの明確化等、これまでの豊富な設計実績を踏まえた具体的な提案がありました。

一方、患者中心の施設整備をはじめとし、特徴的な内容が少なく、病室が西日側にも配置され、その対策も十分でなく、評価は得られませんでした。

F社

業務実施方針として、コストコンストラクションマネージャーを配置し、インパクトが高い項目から優先して検証するなど、コスト管理を徹底する姿勢がみられ、高く評価されました。また患者中心の施設整備の視点では、既存病院のアプローチを継承の上、エントランスから外来部門の視認性を良くし、緑を活かした待合スペースを設けるなど、患者への配慮が十分になされている提案でした。

環境への配慮についても、きめ細かな提案が評価され、全体として高い評価結果となりました。

一方で、エネルギーセンターの免震建屋内中層配置などの独自性がみられましたが、騒音等の懸念もありました。

4 焼津市新病院建設基本設計業務委託プロポーザル審査委員会

	氏名	所属・役職
委員長	丸田 誠	静岡理工科大学教授
副委員長	岩堀 幸司	NPO法人健康都市活動支援機構理事
委員	下山 晃司	焼津市副市長
委員	壁下 敏弘	焼津市市長戦略監
委員	渋谷 信明	焼津市都市政策部理事
委員	関 常司	焼津市病院事業管理者
委員	山梨 美鈴	焼津市立総合病院看護部長